

平成 30 年度新潟県栄養士会福祉事業部実務研修会報告

*日時 平成30年5月19日(土) 午前9時30分～午後4時00分

*会場 新潟ユニゾンプラザ4階大会議室

*講義及び演習 ① 栄養ケア・マネジメントのプロセスについて

② 栄養ケア計画書作成の事例検討

講師 福祉事業部会員

*参加者 75 名

*研修に参加して学んだ事

多くの高齢者施設や障害者施設で導入されている栄養ケア・マネジメントですが、管理栄養士養成校では1単位程度しか授業に取り込まれていない現状があります。実際の現場においても疑問を持ちながら日々の業務に当たっている管理栄養士も多いと思われます。昨年度の福祉事業部実務研修会において栄養ケアプロセスについて学ぶことが出来ました。今年度の研修会では栄養ケア・マネジメントの定義など基本的な事を再確認した上で、更に実際に施設で行われている栄養ケア・マネジメントの実務と手順を教えていただき、具体的に学ぶことが出来ました。栄養ケア計画書は施設ケア計画の一部であり、単独で行われるものではありません。利用者・家族の意向（こうなりたい、こうしたい）を食事とどう結びつけるか？そこは私たち栄養士・管理栄養士の腕の見せどころだと感じました。「24時間シート」「ICF」の考えを基に、栄養面だけでなく生活全体をみて考える視点が大切であるという事も再認識する事が出来ました。

午後からは、6名ほどのグループに分かれ、用意されたフェイスシートを見ながら実際に栄養ケア計画書を作成するグループワークを行いました。食事摂取量にムラがあり、体重減少が見られている方の事例です。長期目標を受けての短期目標である事、食事摂取量を増やすなら何をどの位提供するの、頻度についても「適宜・随時」など曖昧なものではなく具体的に表記する事などを確認しました。なかでも、安易に補助食品に頼らず、管理栄養士なら一番重視しなければならないのは食事であり、まずどうやったら食事を美味しく食べて貰えるのかを考える事ではないのか、という言葉が強く心に残りました。

*当日のアンケートには参加された皆様から沢山の意見をいただきました。

- ・ 栄養ケア計画書の記入方法が曖昧だった為、確認する事が出来て良かった。
- ・ 栄養ケア計画書の作成方法など、大学では学習できなかったところが理解できた。
- ・ 実践を交える事で知識が深まり、有意義な研修だった。
- ・ グループワークで計画書を作成してみて、作成上のポイントを学べてよかった。
- ・ 同地域の栄養士でのグループ分けだったので今後に繋がられるので良かった。 . . . 等

今回の研修で学んだ事を施設での業務に活かし、また栄養士・管理栄養士同士お互いに声を掛けあい、「これで良いのか？」と感じた時にすぐ相談できる繋がりを持っていく事の大切さを感じる事が出来た研修会となりました。(文責 三岡幸子)

